

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重得点加算の解	2003年度 質問項目と評価尺度
	2.2.1 予測や見通しを高める	2.2.1 その日の予定を伝える	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	今日の * * * さんの一日の流れについて、* * * さんに話した内容を具体的に書き添えてください。患者について話さない場合は、家族についてお書きください。話していない場合はその理由をお書きください。 < 記述 > 下記の中から最も近いものを選んでください。 a. 今日の流れを決める際、患者や家族と協議した b. (協議していないが) 時間や誰がするかを伝え c. (協議していないが) 時間や誰がするかを伝え d. 伝えていない	変更なし	< 今日の * * * さんの一日の流れについて、* * * さんに話した内容を具体的に書き添えてください。患者について話さない場合は、家族についてお書きください。 > < 話していない場合はその理由をお書きください。 > あなた自身の評価を選んでください。 a. 今日の流れ(スケジュール)を決める際、患者や家族と協議した b. (協議していないが) 時間や誰がするかを伝え c. (協議していないが) 時間や誰がするかを伝え d. 伝えていない	1. * * * さんの一日の流れについて、* * * さんに本人に伝えましたか。伝えられた場合は、家族についてお書きください。患者について話さない場合は、家族についてお書きください。 > < 伝えられた内容は具体的に書き添えてください。 > < 伝えていない場合はその理由をお書きください。 > a. あなたの自己評価を選んでください。 > b. 今日の流れ(スケジュール)を決める際、患者や家族と協議した c. (協議していないが) 時間や誰がするかを伝え d. (協議していないが) 時間や誰がするかを伝え 評価尺度 予定を決める際患者と協議している 3 時間や誰がするかという予定を伝えていない 2 何があるかを伝えていない 1 伝えていない 0	
	2.2.2 今後の見通しを伝える	2.2.2 今後の見通しを伝える	a = 3 b = 2 c = 0 d = 0	* * * さんの今後の見通しについて話した内容とそのときの患者さんの理解度をお書き下さい。説明をしていない場合は、説明をしていないと記述し、下の選択肢の中から「説明をしていない」を選択してください。 < 記述 > 下記の中から最も近いものを選んで下さい。 a: 患者が理解したかどうかを確認しながら説明をした。 b: 患者が理解したかどうかを確認しながら説明をした。 c: 理由があつて説明していない。 d: 説明していない。	理由があつて虚偽の内容を伝える警告は、負としては無い。0点にしたほうがいいのでは無いのか? 精神科と産婦人科と小児科3者評価では、精神科と産婦人科と小児科は避けてと書いてあるので、自己評価でも記載した方がよいのではないかと加える。 記述と評価は関係がない。妥当かどうかは関係がない。 伝えられたかどうかの段階として、伝えられた状態を評価してはどうか? 記述内容は、長期的な見通しで説明の内容も多い。3人記述していないが、一人はAで2人はB。簡単な説明の人がいるため(A)。患者の状態が変動しているため、現在の状態しか見通しを言うことができない人がいる。(A)。多くの人は長期的な内容を記述していたので今後も期待できそうである。長期的か短期かどうかは決めなくてもよい。 伝えられたときのわかりやすさや反応を見ながらなど、伝え方を差をつけることが必要ではないか? 話し終わった時の状況を問うたら思い出し書きと思うが、びっくりしたことをそのとき確認したかどうかはわからない。 患者が理解できたかどうかは確認してもらいたい。	< * * * さんの見通しの今後について、話し内容を具体的に書き添えてください。患者について話さない場合は、家族についてお書きください。 > < (事情があつて虚偽の見通しを伝えられたものとしてお書きください。) > < 伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのか、理由をお書きください。 > あなた自身の評価を選んでください。 a. 自分または他の看護士が伝えた、もしくは医師が伝える場をつくれた b. 間接的に伝えた (パンフレット等) c. (一) d. 伝えていない	4. * * * さんの見通しを * * * さん本人にどのように伝えていきますか。その内容を添えてください。患者についてお書きください。(事情があつて虚偽の見通しを伝えられた場合も添えてください。) < 伝えられた内容をお書きください。 > < 伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのか、理由をお書きください。 > < あなたの自己評価を選んでください。 > a. 自分が伝えた b. 医師が伝える場を作り伝えた c. 間接的に伝えた (例: 誰かに頼んだ、パンフレットを渡した) d. 伝えていない 評価尺度 自分が伝えた 2 医師が伝える場をつくれた 2 間接的に伝えた 1 伝えていない 0	
	2.2.3. 退院計画を患者と共有する。	2.2.3. 退院計画を立てる。	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	退院計画があつてはならない場合(死亡退院・退院計画が不可能な患者)のために、非該当の項目が必要。退院計画が不可能な人は、非該当になる。 例文は難しい。 一調査の対象は、当該時点で入院している患者であり、どのようなエンドステージを迎えるかも看護士ととなりうる。非該当はない。	< * * * さんの退院計画として設定した目標とタイムスケジュールをお書きください。 > あなた自身の評価を選んでください。 a. 患者・家族と協議して退院計画を立てた b. 患者・家族と協議していないが、退院計画を立て、患者に伝えた c. 退院計画はあるが、患者に伝えていない d. 退院計画を立てていない	退院計画を立てた 2 医師が伝える場をつくれた 1 間接的に伝えた 1 伝えていない 0		

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重得点加算の解	2003年度 質問項目と評価尺度
3 家族の絆を強める	3.1. 家族/重要他人にいてる場を確保する。	3.1.1. 面会時間を融通できることを家族に伝える。	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	<p>**さん本人や家族に、必要に応じて面会時間が融通できることを伝えましたか？</p> <p>a. 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した</p> <p>b. 自分または他の看護師が伝えた</p> <p>c. 間接的に伝えた (入院のパンフレット等)</p> <p>d. 伝えていない</p>	変更なし	<p>**さん本人や家族に、必要に応じて面会時間が融通できることを伝えましたか？</p> <p>a. 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した</p> <p>b. 自分または他の看護師が伝えた</p> <p>c. 間接的に伝えた (入院のパンフレット等)</p> <p>d. 伝えていない</p>	<p>家族との絆を強めるための機会を提供ができることを知らせることは重要項目として追加。</p>	
		3.1.2. 面会看護ケアの時間を配慮できることを家族に伝える。	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	<p>**さんや家族に、面会の際には看護ケアの時間を調整できることを伝えましたか？</p> <p>a. 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した</p> <p>b. 自分または他の看護師が伝えた</p> <p>c. 間接的に伝えた (入院のパンフレット等)</p> <p>d. 伝えていない</p>	変更なし	<p>**さんや家族に、面会の際には看護ケアの時間を調整できることを伝えましたか？</p> <p>a. 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した</p> <p>b. 自分または他の看護師が伝えた</p> <p>c. 間接的に伝えた (入院のパンフレット等)</p> <p>d. 伝えていない</p>	<p>患者にとつては、治療や看護ケアの如き時間の融通することは望ましいことではないことがあるので、融通することを伝えるというようにした。融通しない場合もあるため、融通しないかどうかは問わない。この患者および家族について、今日でなくともよいので、自分または他の看護師が事実を伝えていただくかについて問う。</p>	
		3.1.3. 家族が待つ時や、つぎの居場所を家族に伝える。	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	<p>**さんや家族に、面会の際の家族の居場所や検査等を待っている際の居場所などを必要に応じて伝えましたか？</p> <p>a. 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した</p> <p>b. 自分または他の看護師が伝えた</p> <p>c. 間接的に伝えた (入院のパンフレット等)</p> <p>d. 伝えていない</p>	変更なし	<p>**さんや家族に、面会の際の家族の居場所や検査等を待っている際の居場所などを必要に応じて伝えましたか？</p> <p>a. 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した</p> <p>b. 自分または他の看護師が伝えた</p> <p>c. 間接的に伝えた (入院のパンフレット等)</p> <p>d. 伝えていない</p>	<p>患者が手術の時に待っていてよい場をさりげなく説明したり、処置後にどこにいたらいのかをわからぬ家族を病室に招き入れるということをねらう。</p>	

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重時点加算の弊	2003年度 質問項目と評価尺度
3.2.患者 ケアへの 家族の参 加を支援 する。	3.2.1.家族 の負担につ いて把握す る。	3.2.1.家族 の負担につ いて把握す る。	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	**さんの入院に際してのご家族の負担についてあなたができるように把握しているかお書きください。ご家族の負担がないと把握している場合はそのようにお書き下さい。 <記述> それ以外のものから最も近いものを選んでください。 a. 患者や家族に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した b. 直接患者や家族に確認したわけではないが、患者や家族の反応や言動から察した c. その患者や家族のことではなく一般的な状況から推測した d. 知らない	記述しているものから判断できない項目である。内容に違いはないが、正直に答えていることを信用するのでは、選取肢のみでよいのではないか？ 家族の負担についてあなたが把握してわかったか？ 書かせたことの意味はないが、現在の質問の置き方であれば、質問が誘導しやすい。負担になっていないことが前提として話しているが、負担になっていないこともある。 負担がないこと、直接ないことを確認して知っている場合は、3点である。	< **さんの入院に際してのご家族の負担を具体的ににお書きください。 > それはどのようなようにしてわかったのですか？あなたの自己評価を選んでください。 a. 患者や家族に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した b. 直接患者や家族に確認したわけではないが、患者や家族の反応や言動から察した c. その患者や家族のことではなく一般的な状況から推測した d. 知らない	家族の絆を強めるためには、家族の負担の状況を理解することも重要な項目を追加。	7. 患者と家族の絆を強めるためのケアについてお聞きします。 7-1) * **さんのケアの中でご家族ができることをしても行っていることはありますか。あるいは一緒にやっていることはありますか。 () はい → 質問7-2)、7-3)、7-4) 7-1 () いいえ → 質問7-5) 7-6) へ進んでください。 7-2) その内容を具体的ににお書きください。 7-3) 何故、ご家族と一緒にしようと思っただけですか。 評価尺度 家族の絆を強める意図がある 1 " 意図がない 0
3.2.2.家族 の絆を強め るために意 図的にかか わる。			a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	**さんの療養生活の中でご家族ができることを探したり、一緒に行動していること(又はあえて一緒に行動を具体的ににお書きください。) 例：入院中であつても家族との絆を強めるために、看護師は〇〇を行っていた(または行わないうようにした) <記述> 下記のの中から最も近いものを選んでください。 a. 絆を強められるよう意図的に働きかけている(実施していない) <記述> b. 意図性をもっているが具体的に実施に至っていない c. 絆を強める意図は明確ではないが、家族にしてもらっていることがある d. 特に行っていない/絆を強める意図はないが、家族に手伝わってもらっている	絆については答えてもらえていない。 絆を強める意図の解説をしなければならぬ。 Cを設定。	< **さんの療養生活の中でご家族ができることを探したり、一緒に行動していること(又はあえて一緒に行動を具体的ににお書きください。 > あなたの自己評価を選んでください。 a. 絆を強められるよう意図的に働きかけている(実施していない) <記述> b. 意図性をもっているが具体的に実施に至っていない c. () 特に行っていない/絆を強める意図はないが、家族に手伝わってもらっている	家族がいない場合もある。患者の選択の条件の中に家族や重要な人がいるように選択する。家族や重要な他者がいない場合は調査対象から除くこととする。	7-5) 何故、ご家族と一緒にしていないのか理由があればお書きください。 a. 理由がはっきりしている b. 理由がない c. 理由がはっきりしている場合、その具体的な内容をお書きください。 > 評価尺度 家族と一緒にしていない 2 " 理由がない 0
								7-6) 患者と家族の絆を強めるために、あなたがしていることを書いてください。 研究者の読み取り用の質問。尺度なし。

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重得点加算の解	2003年度 質問項目と評価尺度
4 直接ケア	4.1 看護師は患者の状況にあったケアをする。	4.1.1 特性、その人らしさ、価値観、希望にそって患者の状況や流動的な状態に合わせたケアを行っている。	a = 3 b = 2 c = 0	今日実施した**さんの保清について、患者さんの病状の変化に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正しましたか？あれば、追加・修正してください。 4.1.2 下記の中から最も近いものを選んでください。 a. 行った(3) b. 根拠があって行っていない(3) c. 行っていない(0)	先に病状の特性で変更した保清方法を尋ねて、それから患者の特性を問うようにはどうか？ 4.1.2を4.1.1より先に設問を設定する。看護師の考える自然な流れとしては身体的な状況は先である。 4.1.2は身体の流動的な変化だけを見ているかどうか→わけをきかないと2つおこ意味がない。答えにくい。 →4.1.2は、身体の変動的な変化を見て、修正追加をする。 4.1.1は生活上の好みや個性を考慮してケアの修正追加を行っているかを問うということと設問を分けて聞く。	<今日実施した**さんの保清に関して患者さんの個別性(患者の特性、その人らしさ、価値観、希望)に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正しましたか？あれば、追加・修正した内容を具体的にお願いします。> あなたの自己評価を選んでください。 a. 行った/根拠があって行わなかった (一) b. (一) c. (一) d. 行っていない	項目の新設に伴い削除。	7-4)ご家族にしろもう、あるいは一緒にいるにあたって何か工夫していますか。 a. 工夫している b. 工夫していない c. 工夫している場合は、具体的な内容をお書きください。 評価尺度 家族と一緒にするために ・工夫している点がある (家族の絆を深める意図があつて、あえて何もしていない) ・工夫していない 0
			a = 3 b = 2 c = 0	今日実施した**さんの保清について、患者さんの個別性(患者の特性、その人らしさ、価値観、希望)に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正しましたか？あれば、追加・修正した内容を具体的にお願いします。 4.1.2 下記の中から最も近いものを選んでください。 a. 行った(3) b. 根拠があって行っていない(3) c. 行っていない(0)	先に病状の特性で変更した保清方法を尋ねて、それから患者の特性を問うようにはどうか？ 4.1.2を4.1.1より先に設問を設定する。看護師の考える自然な流れとしては身体的な状況は先である。 4.1.2は身体の流動的な変化だけを見ているかどうか→わけをきかないと2つおこ意味がない。答えにくい。 →4.1.2は、身体の変動的な変化を見て、修正追加をする。 4.1.1は生活上の好みや個性を考慮してケアの修正追加を行っているかを問うということと設問を分けて聞く。	<今日実施した**さんの保清に関して患者さんの個別性(患者の特性、その人らしさ、価値観、希望)に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正しましたか？あれば、追加・修正した内容を具体的にお願いします。> あなたの自己評価を選んでください。 a. 行った/根拠があって行わなかった (一) b. (一) c. (一) d. 行っていない	項目の新設に伴い削除。	10. **さんの保清についてお聞きします。 10-1) 今日実施した**さんの保清に関して患者さんの個別性に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正したことがありますか。 () はい → 10-2)へ進んでください。 () いいえ → 10-3)へ進んでください。 10-2)追加・修正した内容とその理由をお書きください。 10-3)それはなぜですか。 評価尺度 患者の状況に合わせて 行っている (一) ・特性、その人らしさ、価値観、希望 ・状況、流動的な状態 ・清潔の必要性の考慮 (・統合してケアの方法を判断している) 行っていない 根拠があって行っていない場合 ・特性、その人らしさ、価値観、希望 ・状況、流動的な状態 ・清潔の必要性の考慮 (・統合してケアの方法を判断している) 根拠がない 0
			a = 3 b = 2 c = 0	今日実施した**さんの保清に関して患者さんの個別性(患者の特性、その人らしさ、価値観、希望)に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正しましたか？あれば、追加・修正した内容を具体的にお願いします。 4.1.2 下記の中から最も近いものを選んでください。 a. 行った(3) b. 根拠があって行っていない(3) c. 行っていない(0)	先に病状の特性で変更した保清方法を尋ねて、それから患者の特性を問うようにはどうか？ 4.1.2を4.1.1より先に設問を設定する。看護師の考える自然な流れとしては身体的な状況は先である。 4.1.2は身体の流動的な変化だけを見ているかどうか→わけをきかないと2つおこ意味がない。答えにくい。 →4.1.2は、身体の変動的な変化を見て、修正追加をする。 4.1.1は生活上の好みや個性を考慮してケアの修正追加を行っているかを問うということと設問を分けて聞く。	<今日実施した**さんの保清について、患者さんの流動的な状態に合わせて、病棟でふだんする保清のやり方方に追加したり、修正しましたか？あれば、追加・修正した内容を具体的にお願いします。> あなたの自己評価を選んでください。 a. 行った/根拠があって行わなかった (一) b. (一) c. (一) d. 行っていない	項目の新設に伴い削除。	

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重停点加算の解	2003年度 質問項目と評価尺度
	4.2. 苦痛を緩和する。	4.2.1 痛みを適切に方法で評価する。	a=3 b=2 c=0	* さんの痛みはどのようになっていますか？下記の中から最も近いものを選んでください。 a. 患者の主観を尊重して、特定の評価尺度を用いている。 b. 特定の評価尺度を用いていないが、その都度、痛みを評価している。 c. 評価していない	自由記載はとる。なくてもよい。 質問：痛みはどのようになっていますか？当ではまるもVASを消す。それにとらわれたいようにする。さらに、主観的の的をとり、患者の主観を尊重すると記載する。	< * さんの痛みをどのように評価していますか？具体的にお願いします。 > あなたの自己評価を選んでください。 a. 客観的な指標 (VASなど) を用いて患者の主観的を尊重して評価している。 b. 客観的な指標を用いていないが、その都度、痛みを評価している。 c. (一) d. 評価していない	痛みを適切に方法で評価しているかを確認するためにスケーラーを用いている。その患者がスケーラーを用いていることが必要である。 本人の生活、反応を含めて、 ・ 痛みをコントロールを述べている 2 ・ 個別性が見えない/マニュアル的/処方のみを述べている 1 ・ 答えられない 0	8. * さんの痛みについてお聞きします。 8-1) * さんの痛みを緩和するための治療や看護についてその内容、患者の生活状況の変化、緩和対策への反応を含めて具体的に記入してください。 評価尺度 本人の生活、反応を含めて ・ 痛みをコントロールを述べている 2 ・ 個別性が見えない/マニュアル的/処方のみを述べている 1 ・ 答えられない 0
		4.2.2. 痛みを予測し、計画的に鎮痛剤を使用している。	a=3 b=2 c=1 d=0	* さんの鎮痛剤は計画的に使用していますか？下記の中から最も近いものを選んでください。 a. 痛みを訴える前に鎮痛剤を用いている b. 理由があつて鎮痛剤を用いていない c. 痛みを訴えてから鎮痛剤を使用している d. 我慢させることがある	痛みがコントロールされ、計画的に使用しているかどうかわからず、計画的に使用しているかどうかわからないので、記述は行わない。 記述の設問：痛みはコントロールされているか？コントロールされているか？コントロールされていないか？コントロールされているか？コントロールされていないか？コントロールされているか？コントロールされていないか？	< * さんの痛みはコントロールされていますか？ > あなたの自己評価を選んでください。 a. 痛みを訴える前に鎮痛剤を用いている/理由があつてそうしていない b. (一) c. 痛みを訴えてから鎮痛剤を使用している d. 我慢させることがある	8-2) その結果、* さんの痛みはコントロールされていますか。されている、あるいはされていませんか。理由を述べてください。 評価尺度 根拠を含めて効果判定を述べている 2 効果判定をしていないが根拠が不明瞭である 1 効果を判定していない 0	
		4.2.3. 鎮痛剤の副作用に処置している。	a=3 b=2 c=2 d=0	* さんの鎮痛剤の副作用に対して、どのように対処していますか？具体的に書きください。例：現在、鎮痛剤の副作用として、〇〇や△△が出現している。それに対して、x x や口口を行っている <記述> 下記の中から最も近いものを選んでください。 a: 必要な観察を行い、予防的に処置している。 b: 必要な観察を行っているが、予防的な処置は現在必要としない。 c: 副作用が出現したとき、その都度処置する d: 具体的な観察項目があげられない	副作用の状態が書かれていないことがある。例を示す。	< * さんの鎮痛剤の副作用に対して、どのように対処していますか？具体的に書きください。 > あなたの自己評価を選んでください。 a. 必要な観察を行い、予防的に処置している b. 副作用を観察し、その都度処置する c. (一) d. 具体的な観察項目があげられていない	8-3) * さんに際らず日頃、痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか。その内容を記入してください。 <働きかけた言葉や内容を具体的に記入してください。 > a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが根拠を述べていない c. 現状を述べているが改善策がない d. 意見を言っていない 評価尺度 意見を言っている 3 ・ 現状、根拠を含めて改善策を言っている 2 ・ 改善策はあるが根拠を述べていない 1 ・ 現状を述べているが改善策がない 0 ・ 意見を言っていない 0	
		4.2.4. 鎮痛剤以外の方法を併用して痛みを緩和している。	削除			* さんの痛みの緩和のために、鎮痛剤以外の方法を用いていますか？ a. 積極的に取り入れている b. 患者の状態に応じて取り入れている c. (一) d. 取り入れていない	8-4) * さんに際らず日頃、痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか。その内容を記入してください。 <働きかけた言葉や内容を具体的に記入してください。 > a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが根拠を述べていない c. 現状を述べているが改善策がない d. 意見を言っていない 評価尺度 意見を言っている 3 ・ 現状、根拠を含めて改善策を言っている 2 ・ 改善策はあるが根拠を述べていない 1 ・ 現状を述べているが改善策がない 0 ・ 意見を言っていない 0	

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつきと尺度の統一、2重得点加算の解	2003年度 質問項目と評価尺度	
		4.2.5. 痛みに対する処置の効果について評価している。	a = 3 b = 2 c = 0	<p>* * さんの痛みはコントロールされていますか？さされているはさされていないと思ふ理由をお書きください。例：痛みの訴えがなくなり、表情が明るくなったので、コントロールされていると思ふ。痛みの指標で軽減していることが明らかなので、コントロールされていると思う。痛みの訴えが増え、夜もねむれていないようなのでコントロールされていないと思う。</p> <p><記述> 下記の中から最も近いものを選んでください。</p> <p>a : 判断の根拠があり、効果判定している。 b : 判断の根拠は不明だが、効果判定している。 c : 効果判定していない</p>	<p>4.2.2. の記述の設問をもつてコントロールされている理由とされた理由を述べさせた。根拠があつて効果判定しているかどうかをみたい。なぜ痛みの例をかきつけたのか、またはなぜ痛みがとれているのか、またはなぜ痛みがわからなから根拠は不明かというのを選択しているのか？</p>	<p>< * * さんの痛みの緩和の効果について、お書きください。 > あなたの自己評価を選んでください。 a. 根拠を含め効果判定している b. 根拠は不明だが、効果判定している c. (一) d. 効果判定していない</p>	<p>苦痛を緩和する方策の効果の評価について問う。</p>		
		4.2.6. 痛みに対する治療について医師に意見を言う。	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	<p>* * さんの痛みの治療について医師にどのよう働きかけていますか？ * * さんについてそのような状況がない場合は、違う事例で具体的に答えください。例：鎮痛剤を投与しても痛みが軽減せず、痛みの特徴から原因が〇〇と考へたので、医師に薬剤の変更を提案した。</p> <p><記述> 下記の中から最も近いものを選んでください。</p> <p>a. 現状・根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが、根拠を述べていない c. 現状だけを言っている d. なにも言っていない</p>	<p>いう説明のためか、一般論の記載になつている。一般論にならないようにしなければならぬ。記述と回答があわないうところがあるが、回答例を出すことで解決できそうである。現状根拠・解決策は書いている。</p> <p>設問案 〇〇さんの痛みの治療についてどのよう働きかけていますか？〇〇さんについてそのような状況がない場合は、違う事例で具体的に答えください。例：鎮痛剤を投与しても痛みが軽減せず、痛みの特徴から原因が〇〇と考へられたので、医師に薬剤の変更を提案した。(現状と根拠と改善策をいれて過去形で表す)</p>	<p>< * * さんに限らず日頃、痛みの治療について医師に対して、働きかけた言葉や内容を具体的ににお書きください。 > あなたの自己評価を選んでください。 a. 現状・根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが、根拠を述べていない c. 現状だけを言っている d. なにも言っていない</p>	<p>苦痛を緩和する方策として、医師への働きかけは重要であり、その方法について問う。</p>		
4.3. 継続性・個別性のあるケアをする。	4.3.1. ケアの見直しや修正をしている。		a = 3 b = 3 c = 0	<p>今日は〇〇さんのケアについてどのような改善を行いましたか？改善した場合はその理由をお書きください。変更しなかった場合はその理由をお書きください。例：〇〇だったので、ケアを△△に改善した。〇〇だったのでもケアを改善する必要はなく変更はしていなかった。</p> <p><記述> 下記の中から最も近いものを選んでください。 a : 根拠があつてケアを改善した。 b : 根拠があつてケアを変更していない。 c : ケアの改善を検討していない/人手・時間の制約の理由で変更した</p>	<p>ケアの枠は必ず必要ない。ケアの内容は評価には関係がない。記述すること意識させる。質問の流れが複雑であるので、もう少し簡潔にできないか？見直しや修正の内容を書いた時点で、ケアの妥当性を検討したかどうかはわからないが、実質的な修正を行っていない人が妥当性を検討していない点として点差を付けているケースが多い。妥当ではない回答の人が6名。設問がわかりにくい。ケアの妥当性について検討しているかどうか問題であるが、妥当性ということばが難しい。4.3.1. でケアの個別性をみて、4.3.2. で継続性をみている。</p>	<p><今日、あなたは * * さんの痛みに対するケアについて、見直しや修正を行いましたか？あれば、その内容を具体的ににお書きください。 > <見直しや修正を行った/行わなかった理由を具体的ににお書きください。 > あなたの自己評価を選んでください。 a. ケアの妥当性について検討した b. (一) c. ケアの妥当性について検討していない d. ケアの妥当性について検討してない</p>	<p>9. ケアの變更についてお聞きします。 9-1) * * さんの痛みに対しに行っていたことと、今日あなたが変えたこととはありますか。 () はい → それはなぜですか。 () いいえ → それはなぜですか。</p> <p>評価尺度 ケアの妥当性を検討している 1 検討していない 0</p>	<p>評価尺度の段階の變更</p>	

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重得点加算の弊	2003年度 質問項目と評価尺度	
		4. 3. 2. ケアの方法を変更したい時、他のスタッフに伝えられているか？	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	* * さんの経験であなたがケア方法を伝えましたか？ <記述> 下記の中から最も近いものを選んで下さい。 a : 方法と根拠を伝え、計画を書き換えた。 b : 方法と根拠だけ伝えた（書き換えはしていない） c : 方法を伝え計画を書き換えた。 d : 伝えていない。	下記の中から最も近いものを選んで下さい。 a : 方法と根拠を伝え、計画を書き換えた。 b : 方法と根拠だけ伝えた（書き換えはしていない） c : 方法を伝え計画を書き換えた。 d : 伝えていない。	* * さんに限らず、これまでの経験であなたがケア方法を伝えましたか？ <記述> 下記の中から最も近いものを選んで下さい。 a : 方法と根拠を伝え、計画を書き換えた。 b : 方法と根拠だけ伝えた（書き換えはしていない） c : 方法を伝え計画を書き換えた。 d : 伝えていない。	2004評価尺度 < > は記述を求める * * さんに限らず、これまでの経験であなたがケア方法を伝えましたか？ a. 方法、根拠、計画を伝えた b. 方法、根拠または、方法、計画を伝えた c. 方法のみを伝えた d. 伝えていない	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重得点加算の弊 評価尺度の変更	2003年度 質問項目と評価尺度 あなたがケア方法を変えたとき、他のスタッフにその内容を伝えましたか。以下から選択してください。 a. 伝えていない b. 伝えていない c. 該当なし（これまでの経験上、ケア方法を変えたことがない） < a. 伝えた。 を選択された方は、どのようなことを伝えただけで、該当するものすべてに○をつけてください。 > () 変更したケアの方法 () 変更したケアの根拠 () 変更した計画（例：次の評価時期など） 評価尺度 伝えていない内容 ・ ケアの方法、根拠、今後の計画を伝えた 4 ・ ケアの方法、根拠を伝えた 3 ・ ケアの方法、根拠のみを伝えた 2 ・ 伝えていない 1 ・ 伝えていない 0
5 場をつくる	5. 1. 他職種との意見交換の場を活用する。	5. 1. 1. この患者の痛みについて他職種の意見を求めたことがある。	a = 3 b = 2 c = 0	協議したかどうか記述からはわからない。 痛みについては、4. 2. 6. でも聞いています。 健康問題（栄養摂取の問題、排泄の問題、退院調整など）など幅広い可能性があるので、評価が分かれる。 他職種は、技師さんとかいろいろ関りに関する他職種は、医師に限定されることが多い。 生活問題について、とすると他の職種がでてきやすい。 痛みを限定しているところが、不適切か？ Cは回答できないようにしておく。	協議したかどうか記述からはわからない。 痛みについては、4. 2. 6. でも聞いています。 健康問題（栄養摂取の問題、排泄の問題、退院調整など）など幅広い可能性があるので、評価が分かれる。 他職種は、技師さんとかいろいろ関りに関する他職種は、医師に限定されることが多い。 生活問題について、とすると他の職種がでてきやすい。 痛みを限定しているところが、不適切か？ Cは回答できないようにしておく。	< * * さんの痛みへの対応について、他の職種に意見を求めたことがありますが、その内容を具体的に書きましたか？ > a. 他職種に積極的に意見を求め協議している b. 他職種に意見を求める、もしくは根拠があつて求めている c. (一) d. 他職種に意見を求めたことがない（指示受けのみを行っている）	5. 1. 1. 1. 他職種の意見を求めたことがない 5. 1. 1. 2. 他職種の意見を求めたことがある	5. 1. 1. 1. 他職種の意見を求めたことがない 5. 1. 1. 2. 他職種の意見を求めたことがある	
		5. 1. 2. (痛み以外の問題でも) 二つの患者について他職種の意見を話し合う場をつくる。	a = 3 b = 2 c = 0	* * さんの健康問題（栄養摂取の問題、排泄の問題、退院調整など）について、他の職種に意見を求め、話し合ったことがありますか？（例：カンファレンス） a. 必要時、積極的に働きかけ時間や場を調整した b. 求めによって調整した c. 場の調整を行ったことはない	5. 1. 1. にあわせる	* * さんの入院中の対応について、痛みの対応以外にも含めて、他の職種との意見交換の場を調整したことがありますか？ a. 必要時、積極的に働きかけ時間や場を調整した b. 求めによって調整した c. (一) d. 場の調整を行ったことはない	痛みのある患者を選択しているため、5. 1. 1. についてはずねていますが、痛み以外でも多職種間での話し合う場をつくることを評価する。		

大項目	中項目	小項目	得点	2005評価尺度	検討事項	2004評価尺度 < > は記述を求める	検討事項 尺度のばらつき と尺度の統一、2 重得点加算の解	2003年度 質問項目と評価尺度
	6.3. 基準を守り安全に処置をする。	6.3.1. 安全基準をともにして、処置が行われているか？ (感染防止基準や事故防止基準)	a = 3 b = 2 c = 1 d = 0	看護ケアは、感染防止基準や安全基準に基づいて実施されていますか？下記のうち最も近いものを選んで下さい。 a: 基準はあっても徹底して実施していない。 b: 基準はあるが、徹底して実施できないときがある。 c: 基準はあるがたびたび実施できないときがある。 d: 基準を使っていない。	ほとんどAの評価である	看護ケアは、感染防止基準や安全基準に基づいて実施されていますか？ a. 感染防止基準や安全基準に基づいて実施している b. (一) c. (一) d. 感染防止基準や安全基準に基づいて実施しているのかどうかかわらない	安全に関するスタンダードが作成されていることがインシデントを予防するための活動として必要である。スタンダードはたたくさんあり、何か具体的なアイデアやインを思い出すことが難しい。まずは、手順や基準が正しいこと、手順が明確で、その手順にインシデントが起きたときにどう対応するか、という点で、今日行った処置について聞かない。	2003年度 質問項目と評価尺度
	6.3.2. 基準の修正を行う。	6.3.2. 基準の修正を行う。	a = 3 b = 2 c = 0	病棟内の基準や手順が不適切であることに気づいたらどのように修正しますか？下記のうち最も近いものを選んで下さい。 a: 速やかに話し合い修正している。 b: 定期的に話し合い修正している。 c: 不適切であることに気づいても修正することは難しい。	「不適切な」と「修正」という2つの要素が含まれている	病棟内の基準や手順に、不適切なものを見つけたら、どのように修正しますか？ a. 危険な基準に気づいたらすみやかに話し合い、修正した b. 危険な基準について話し合った c. (一) d. 危険な基準に気づいているがなにもしていない	基準の修正について新設。手順が危険だと感じたときに、手順をそのままにするのではなく、そのことをカンファレンスなどで取り上げ、迅速に変えていく努力をすることが必要である。	
	6.3.3. 手順通りに行う。	6.3.3. 手順通りに行う。	a = 3 b = 1 c = 1 d = 0	今日、* * さんに行った検査、処置の看護ケアは手順どおりに行いましたか？ a: 手順どおりに行ったが、根拠があっても手順を変更しなかった。 b: 手順を省いた。 c: 変更の必要があったが手順どおりに行わなかった。 d: 手順どおりに行わなかった。	今日、* * さんに行った検査、処置の看護ケアは手順どおりに行いましたか？ a. 手順通りに行ったが、根拠があっても手順を変更しなかった b. (一) c. (一) d. 手順通りではなかったが、根拠なく修正した/変更の必要があるのに手順通りに行った	自己評価では、「知っていない」という表現と、変更の必要があるのに手順通りで行っている場合の「指す」ことを指すため、よりわかりやすい表現とするため「変更の必要があるのに、手順通りに行っている」という表現とする	16. 今日、* * さんに行った検査、処置の看護ケアは手順どおりに行いましたか。 a. 理由があっても手順を変更しなかった b. 手順どおりに行わなかった c. 手順どおりに行わなかった 評価尺度 1. 手順どおりに行っていない/意図して(根拠がある)変更している 2. 手順どおりに行っていない/意図しない 3. 手順どおりに行っていない/意図しない	

資料 1-3

資料 1-3 : Web 自己評価結果 (アウトカム)

改訂箇所一覧

2003年度患者満足度調査項目	改訂理由	2004年度患者満足度調査項目	改定理由	2005年度患者満足度調査
1.看護師がいることで安心して検査や治療が受けられた		1.看護師がいることで安心して検査や治療が受けられた		1.看護師がいることで安心して検査や治療が受けられた
2.安心して、看護師の世話が受けられた		2.安心して、看護師の世話が受けられた		2.安心して、看護師の世話が受けられた
3.自分で身体が拭けないときに、看護師に気持ちよく身体を拭いてもらった		3.自分で身体が拭けないときに、看護師に気持ちよく身体を拭いてもらった		3.看護師はあなたの希望を確認しましたか？
4.痛みがあった時には、気兼ねなく看護師に言えた		4.痛みがあった時には、気兼ねなく看護師に言えた		4.自分で身体が拭けない時に、看護師に気持ちよく身体を拭いてもらった
5.看護師の対応によって痛みは落ち着いた		5.看護師の対応によって痛みは落ち着いた		5.わかからないことは気兼ねなく看護師に聞くことができた
6.痛みがあったときに看護師の対応に満足できた	すべての質問に自動的に反応、回答する傾向があり、否定文の質問は得点が逆になるにもかかわらずそのまま回答していると 思われるケースが多かった。そのため有意に低い得点となっていた。そこで、否定文による質問を肯定文に変更した。	6.痛みがあったときに看護師の対応に満足できた	各小計のバランスを取る。重複する質問を避ける。項目数は変えない。6領域で整理し直すという前提で修正。痛みに対する質問を1つにする。希望を確認しているかどうかを質問項目として追加するか気兼ねなく質問できているかという質問を追加する。	6.痛みがあったときの看護師の対応に満足できた
7.看護師は私の身体の状態をよく知ってくれていると思う		7.看護師は私の身体の状態をよく知ってくれていると思う		7.看護師は私の身体の状態をよく知ってくれていると思う
8.看護師から大切にされていたと思う		8.看護師から大切にされていたと思う		8.看護師から大切にされていたと思う
9.納得して、治療・看護が受けられた		9.納得して、治療・看護が受けられた		9.納得して、治療・看護が受けられた
10.何人もの看護師にいちいち同じことをつたなければならなかった		10.伝えてほしいことを1人の看護師に言えば他の看護師にも伝わった		10.伝えてほしいことを1人の看護師に言えば他の看護師にも伝わった
11.医師と看護師のそれぞれに同じことを伝えなければならなかった。		11.看護師に言えば必要なのは医師に伝わっていた。		11.看護師に言えば、必要なことは医師に伝わっていた
12.ご家族への看護師の対応に満足できた		12.ご家族への看護師の対応に満足できた		12.ご家族への看護師の対応に満足できた

2003年度 家族(重要他者)満足度調査	改訂理由	2004年度 家族(重要他者)満足度調査	改定理由	2005年度 家族(重要他者)満足度調査
1.面会の際、気兼ねなく入院中のご家族(患者さん)と一緒にいられた	変更なし	1.面会の際、気兼ねなく入院中のご家族(患者さん)と一緒にいられた	改定なし	1.面会の際、気兼ねなく入院中のご家族(患者さん)と一緒にいられた
2.看護師が入院中のご家族(患者さん)に行っている世話に満足であった	変更なし	2.看護師が入院中のご家族(患者さん)に行っている世話に満足であった	改定なし	2.看護師が入院中のご家族(患者さん)に行っている世話に満足であった
3.入院中のご家族(患者さん)の役に立ちたいと思っただけを看護師は認めてくれた	変更なし	3.入院中のご家族(患者さん)の役に立ちたいと思っただけを看護師は認めてくれた	改定なし	3.入院中のご家族(患者さん)の役に立ちたいと思っただけを看護師は認めてくれた
4.あなた自身、患者さんの家族として看護師から大切にされていたと思う	変更なし	4.あなた自身、患者さんの家族として看護師から大切にされていたと思う	改定なし	4.あなた自身、患者さんの家族として看護師から大切にされていたと思う

2003年度～2004年度 アウトカム評価の領域と対応する設問項目		2005年度 アウトカム評価の領域と対応する設問項目	
1. 尊重	Pt:3.7.8.9.12	1. 患者への接近	Pt:3.7.
2. 痛みのケア	Pt:4.5.6.	2. 内なる力を強める	Pt:5.9.
3. 安心	Pt:1.2.	3. 家族の絆を強める	Pt:12. Fa:1.3.4.
4. 医療チームの連携	Pt:10.11	4. 直接ケア	Pt:4.6.8. Fa:2
5. 患者の満足	Pt:1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.	5. 場をつくる	Pt:10.11
6. 家族へのケア	Fa:2.3.4.	6. インシデントを防ぐ	Pt:1.2.
7. 気兼ね	Fa:1		
8. 家族の満足	Fa:1.2.3.4.		

改定理由
8領域から6領域に修正を行い、3側面で並べて評価ができるように改定した。重複する質問を避ける。各小計のバランスをとった。

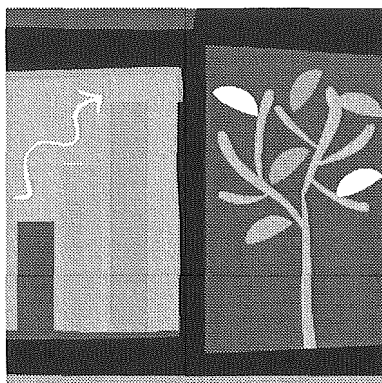
資料2

看護ケアの質自己評価 Web 用マニュアル
2005年度 Version

看護 QI プログラム

看護ケアの質自己評価 Web 用マニュアル

2005年度Version



平成 17 年度 厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

研究代表者：片田範子（兵庫県立大学看護学部）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学看護学部）、上泉和子（青森県立保健大学）

粟屋典子（大分県立看護科学大学）、桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学看護学部）、鄭佳紅（青森県立保健大学）

注）過程評価データの一部は、

「データマイニングによる看護過程情報の構造解析と記録の電子化に関する研究班」

主任研究者：内布敦子、分担研究者：片田範子、坂下玲子、畑豊、新居学（兵庫県立看護大学）
によって分析されます。

目 次

I. 評価の概要	2
1. 目的	2
2. 自己評価ツールの現状	2
3. 枠組み（構造、過程、アウトカム）	2
II. 自己評価の手順	5
1. 評価の流れおよび資料	5
2. 構造評価者（師長）にして頂きたいこと	6
3. 過程評価者（看護師）にして頂きたいこと	15
III. リコメンデーション	20

VI. 資料

資料① 構造評価者用 病棟概要調査

資料② 過程評価者用 入力看護師調査

資料③ 「転倒・転落・褥創発生件数調査表」

資料④ 「入院中の看護に関するアンケート調査表」

資料⑤ 設備事前評価用メモ

資料⑥ ID、パスワード、入力日のご案内

資料⑦ 依頼文書

- ・ 協力施設長・看護部長への依頼文書
- ・ 看護師長への依頼文書（構造評価の Web 画面で表示されます）
- ・ 看護師への依頼文書（過程評価の Web 画面で表示されます）
- ・ 患者様、ご家族への依頼文書（患者様、ご家族への入院看護に関するアンケート Web 画面で表示されます）

資料⑧ 病棟掲示文書（調査期間中病棟内で患者さんの目につく場所に掲示してもらう）

I. 評価の概要

1. 目的

本評価方法は看護ケアの質の改善を目的として開発された第三者評価をもとに、自己評価を開発しました。自己評価によって、あなたの病棟で起こっている看護ケアの質の問題を明らかにし、さらに、改善が具体的に行えるよう提言を行い、看護ケアの質の改善に貢献することを目的としています。

2. 自己評価ツールの現状

自己評価ツールは、2002 年度に開発されたものであり、試運用の段階にあります。これまでの研究結果から、自己評価で行った評価結果と第三者評価で行った評価結果では、自己評価結果のほうがより高い評価値がでるといことがわかっています。現在、設問項目の精度をあげ、自己評価でもより正確に病棟の状況をつかむことができるように研究を進めています。

また、看護 QI プログラム研究班では、1 年に 1 度の自己評価を行い、3~5 年に 1 度の第三者評価を受けることを推奨しております。継続的な質のモニタリングと質改善を行うためのシステムを現在構築中で、Web 上での活用の試用段階です。

3. 評価の枠組み

従来の研究から、看護を含む医療の質を評価するには、次の 3 つの視点で行う必要があると言われてしています。

- ① 構造：ケアの提供の前提となるようなシステム、人の条件、設備等
- ② 過程：ケア提供が実際にどのような過程を踏んで行われているか
- ③ 結果（アウトカム）：ケアの提供の結果、患者にどのようなことが起こったか
 - * 結果＝アウトカムとし、以後アウトカムと表示します。

本評価は、この枠組みに沿って次のように評価を行っています。

構造・過程・結果（アウトカム）について

「構造」

「構造」は看護ケアが提供される前提となる人材、設備や備品、システムを評価しています。質の高い看護ケアを提供するには優秀で豊富な人材がいてその人材を十分活用できるようなシステムが整っていることが必要です。また実際に看護ケアを行う際

に必要な物品や設備、患者にとって快適な入院環境といったハード面の充実も看護ケアの質に影響します。この評価システムでは看護の技術を保証する構造という視点で抽出された指標を16の指標にまとめ、さらに過程の6の指標にまとめなおし6領域とし、構造と過程の双方に共通する領域としました。

「過程」

「過程」は看護ケアのプロセスを指し、看護師がどのような情報を持ち、それをどのように判断し、実際にはどのように行っているかを評価したものです。先行研究から看護の技術として明らかになった6つの枠組みを用いて6指標としています。

「結果」(アウトカム)

「結果」はケアの結果として患者やその家族に見られるものを評価しました。看護師のケアに対する患者の満足や不満足、家族の満足や不満足、インシデントの発生頻度をその評価の対象としています。ここでは「結果=アウトカム」とし、以後、文中ではアウトカムと表示します。“患者・家族の受けた看護ケアのアウトカム”は、2つの側面から評価しています。1つめは、患者・家族の満足度で、6つの領域で評価しており、質問紙を用いて調査します。2つめは、インシデントの側面で、これは転倒・転落・褥創の発生率をアメリカ看護協会でも用いられている数式を用いて算出します。

看護ケアの6つの領域について

看護ケアの重要な要素を6つの領域に分けて、それぞれを構造面、過程面、結果面から評価しています。さらに結果ではそれぞれの領域の満足度を聞いています。以下に看護ケアの領域である6つの領域について、ご説明します。

「患者への接近」

「患者への接近」というのは、看護師が患者や家族に関心を持ち、患者の状態を把握することを意味します。

「内なる力を強める」

「内なる力を強める」とは、患者が自分の状況を理解し、予測性や見通しを持てるように援助することで、患者の持つ潜在的な能力を強め、よりよい状態にすることを意味します。同時に家族にも患者の状態や今後の見通しを持たせることで、家族の持つ潜在的な能力を強めることを意味します。

「家族の絆を強める」

「家族の絆を強める」とは、家族が家族としての役割を果たせるように配慮しながら働きかけることを意味します。

「直接ケア」

「直接ケア」とは、保清や痛み緩和などの看護師が行う具体的看護行為を意味します。患者の個別性に合わせたケアであること、看護ケアを提供する際の判断、実施、評価が適切であり、そのケアの継続性が保たれていることを評価します。

「場をつくる」

「場をつくる」とは、看護師が看護師同士、あるいは他職種と連携している状況（場）を作ること、連携を支えるための場を持つことを意味します。これらは、患者への援助が効果的に効率よく行われることを評価します。

「インシデントを防ぐ」

「インシデントを防ぐ」とは、患者にとって安全な環境を整えること、また、患者の状態に合わせてリスクを見極めながら、患者の可能性を最大限に活かすようなケアを進めていくことを意味します。